

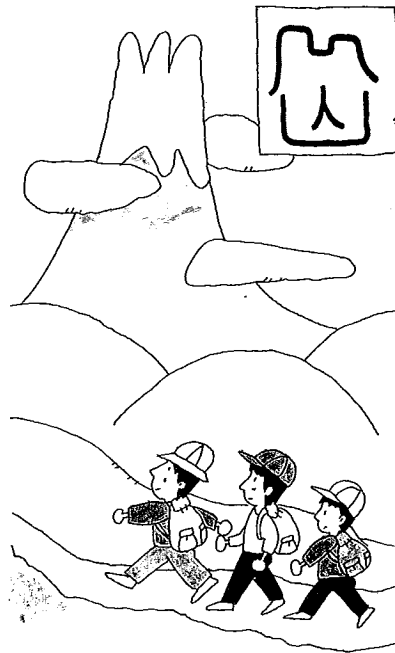
岳

ガク
たけ

8画
イ 一 一 一 一 一 一 一 一

なりたち 丘の形をかたどった

た丘と、山の形をかたどった山の会意字。同音同義の嶽(たけ)は、山と嶽との形声字。天子が巡守して祭る地方鎮護の山。わが国では「たけ」という。



岳丘

キユウ
おか

5画
一 一 一 一 一

なりたち 古い字形は此。中

ほどが低い、自然の小山の形を表した象形字。「小山・おか」。また、「墓」の意味に用いられることもある。



いみじゆく

▼丘：小高い山。
丘陵：丘。あまり高くない山地。
例 丘陵地帯
砂丘：海岸や砂漠などで、風に吹き寄せられてできた砂の丘。

段丘：川、湖、海の沿岸にできた、階段状の地形。土地の隆起によってできる。
例 河岸段丘(昔、河原だった所が隆起してできた地形)。
火口丘：火山の噴火口の中に新しい噴火でできた、小さな火山。
▼土を盛り上げた墓。
丘墓：小高く土を盛り上げた墓。

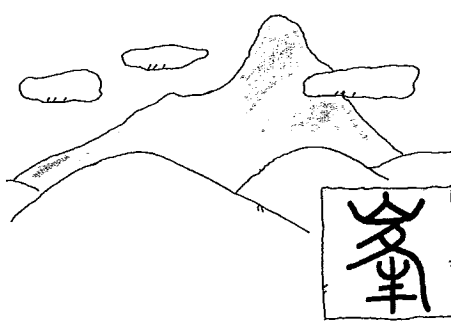
峰

ホウ
みね

10画
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

なりたち 本字は峯。鋒(ト)の

意味の峯と山との会意形声字で、鋒の先のようにとがった山を表した字。「高く」とがった山・山の頂上「のこと」。



いみじゆく

▼高くとがった山。山の頂上。
高峰：とがって高くそびえる山。
例 高峰マッターホルン山。
霊峰：神聖な山。信仰の対象となつている山。例 霊峰富士

孤峰：一つだけ離れて立っている山。
連峰：いくつも連なつて続いている山々。例 アルプス連峰

主峰：連なつている山々の中で一番高い山。
▼刀の峰。刀の背の部分。峰打ち：刀の背の部分で打つこと。殺さずに打撃だけを与える時の刀の使い方。

よみかた 剣が峰・三十六峰・秀峰



崩

ホウ
くずれる・くずす

11画
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

なりたち 旧字体は崩。友の

意味の朋(ト)と山との会意形声字。山が崩れてそれが列の小山になることを表した字。

山が崩れて山の仲間ができること。「山が崩れる」意味から転じて、「天子の死」をいう。

いみじゆく

▼崩れる。
崩壊：物や組織などが崩れ壊れてだめになること。用例 地震で家が崩壊する。
崩落：①崩れ落ちること。②取引相場が急に下がること。

▼天子の死。
崩御：天子の死を敬つて言う言葉。さらに皇后や皇太后などの死をもいう。

よみかた 山崩れ
さんこう 特別なよみかた↓
雪崩



峰崩